

中間チェック・点検結果

総括

- 当初の目標をほぼ達成できた。
- 拠点形成の推進によるライフサイエンス産業の成長促進に取り組むとともに、JETROや経済団体等と連携し、府内企業の海外ビジネス展開支援や国内外からの投資の呼び込みを行った。
- 事業継承支援やグローバルベンチャーエコシステムの構築など、中小企業の活力が発揮できる環境づくりを進めた。
- OSAKALごとフィールドを軸に、女性、若者、障がい者やLGBTを含む就職に困難性を有する方に対する就業支援を行った。また過重労働の解消・防止のため、いわゆるブラック企業の撲滅に向けた取組みをはじめ、国と連携して「働き方改革」を推進した。

テーマ		中間チェック（10月末時点）	点検結果・今後について	自己評価
テーマ 1	大阪・関西のポテンシャルを活かした成長促進 -大阪産業の成長エンジンづくり-	概ね当初の予定どおり進行。今後、ライフサイエンス産業、バッテリー関連産業の成長促進やAI/IoT等第4次産業革命による新ビジネスの更なる創出を図るとともに、部内各課との一層の連携により、特区制度等を活用した企業集積・立地を促進し、アジアを中心とした府内企業のグローバル化を支援していく必要がある。	当初の目標をほぼ達成。今後、第4次産業革命関連技術の中小企業への浸透、電池等新エネルギー関連産業のビジネス拡大、大阪産業局等との連携による中小企業のグローバル化に向けた取り組みを進めるとともに、ライフサイエンス分野の拠点形成を相互の連携を図りつつ推進していく。また、企業ニーズや地域ニーズを踏まえた産業用地の創出・保全を図っていく。	
テーマ 2	中小企業の活力が発揮できる環境づくり-経営・技術・資金面にわたるトータルサポート-	概ね当初の予定どおり進行。今後、商工会・商工会議所等、関係機関と連携しながら、事業承継支援やグローバルベンチャーエコシステムの構築など、中小企業に対する更なる伴走支援に取り組む必要がある。	当初の目標をほぼ達成。引き続き、商工会・商工会議所等、関係機関と連携しながら、事業承継支援やグローバルベンチャーエコシステムの構築など、中小企業に対する更なる伴走支援を行っていく。	
テーマ 3	多様な人材が活躍できる環境づくり-女性・若者・障がい者などの活躍支援-	一部、当初の目標を下回っている事業もあるが、概ね当初の予定どおり進行。今後、国や市町村、関係機関との連携を強化しながら、OSAKALごとフィールドや技専校等における支援により更なる雇用促進や人材確保・育成を図る必要がある。	当初の目標をほぼ達成。今後も国や市町村と連携し、OSAKALごとフィールドを軸とする女性・若者・障がい者など多様な人材の就業支援、技専校等における人材育成、働き方改革の推進に向けた取組を進めていく。	
テーマ 4	最新の経済情勢等を踏まえた部内横断的課題に対する一体的な取組み	引き続き、部内横断的な課題に対して一体的に取り組むとともに、広域、基礎自治体の役割分担を明確にし、市町村との連携の更なる強化を図る必要がある。	当初の目標をほぼ達成。引き続き、関係機関、特に市町村との連携を強化するとともに、部内横断的な課題に対しては部内一体となって対応し、各施策のさらなる実効性を確保していく。	